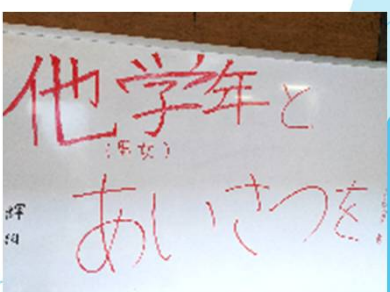


立場を意識すること

東京五輪組織委員会の元委員長M氏が、女性蔑視（べっし）発言をして国内外から厳しく批判され、先月辞任したという出来事を覚えていますか。発言の中身は確かに不適切ですが、一般の人が同じことを発言したのならそこまで大きな騒ぎにはならないでしょう。M氏の発言がどうして大きな問題となったのか……それは、M氏には「長」という立場があったからです。縦のつながりを作るために、現在北中では、あいさつ運動が行われています。一、二年の級長たちが中心となり、生徒たちが積極的にあいさつを交わしています。ホワイトボードには、「他学年（男女）とあいさつを！」と大きな文字で書かれていて、リーダーたちが目的をもってあいさつ運動に取り組んでいることがよくわかります。



一、二年生の動き出しとしては素晴らしい姿です。来年度に向け、生徒たちの動きがますます活発になるような気がして、大変頼もしく感じます。

そんな中、顔をしかめたくなる声を今朝聞きました。久しぶりに耳にする「蛮カラ言葉」でした。「おはようございます」「おはよう」というあいさつが私に飛び交う中で「オース！」というあいさつが私の耳に繰り返し飛び込んできました。どうやら、運動を進めているリーダーたちの中から聞こえてきたようでした。

その時の状況を正確につかんでいるわけではありません。親しい仲間と交わし合っていた時のあいさつだったという可能性もあります。しかし、そこをもう一歩踏み込んで考えてほしいと思います。

リーダーとして参加し、公（おおやけ）の取り組みを進めている以上、その立場を忘れてはなりません。普段は親しげな言葉であいさつを交わしていても、立場がある時にはどういふあいさつをすべきかをしっかり考える必要があります。

立場にはいろいろあります。先輩後輩という立場、委員という立場、「長」が付く立場、皆さんが最も意識していそうで実は忘れがちな立場は、中学生としての立場です。それを忘れると、「失礼だ」とお叱りを受けたり、相手に不快な思いさせたりすることになります。

「校長先生もジーンズを履くんですね。びっくりしました！」休日に出会った生徒にこう言われました。私もジーンズぐらい持っていますよ。平日は校長という立場を忘れずに、毎日ネクタイを締めています。休日は一人の「おじさん」ですからね。立場を意識した言動を身に付けることは、大人に向けての大切な準備だと考えましょう。

（三月十八日 記）